



近的弓道場の完成式で行われた記念演武  
(14日、田辺市目良で)

## 近的弓道場が完成

わかやま国体の競技場に

田辺市目良

2015年に開かれる「紀の国わかやま国体」の弓道競技会場となる田辺市立近的弓道場(的まで28㍎)の完成式が14日、同市目良であった。式典と記念演武、市長杯争奪弓道大会が開かれ、新道場の完成を祝った。

式典には、真砂充敏市長をはじめ県議や市議、県弓道連盟関係者、近隣高校の弓道部員らが出席。真砂市長は「国体をぜひとも成功させ、国体後は大いに施設を活用してもらって交流人口の増大につなげたい」とあいさつした。同連盟の佐竹万里子会長は「大変立派な規模の道場で限りなく夢が広がる。会員一同うれしい気持ちでいっぱい」となどと謝辞を述べた。

式典に続く記念演武では、県弓道連盟の各支部代表者や日高と紀央館、南部、神島、田辺工業の各高校弓道部員が「祝射」として矢を射るなどした。

弓道場は旧市民球場跡地に昨年9月から着工し、鉄骨造り平屋で12人が同時に矢を射ることができる。射場(724平方㍎)と的場・倉庫(163平方㍎)、1000人収容の観覧席(78平方㍎)などがある。施設規模は旧施設の2・3倍となり、来年2月末には隣接して遠的(的まで60㍎)の射場も完成する予定。